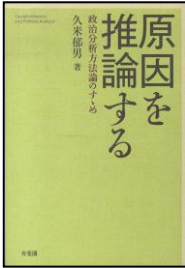


# Book Preview

富山高校図書館 2021.2



## 『原因を推論する—政治分析方法論のすゝめ』

久米 郁男／著

ある政治現象が起きた時、人はさまざまにその原因を推論する。その際、印象論ではなく、現状を客観的にとらえ、なぜその現象が生じたのかを経験的・実証的に分析するには、どのような作法に従えばよいか。一見、実証的にみえる分析の落とし穴に陥らないためには、どういった点に注意すればよいか。計量分析と質的分析に共通した方法とは何か。新たな理論・仮説を構築する方法とは？政治学のみならず、広く社会科学を学ぶ読者に向けて、身近で一般的な社会現象や政治現象を題材に、第一人者が軽妙洒脱に掘り下げて解説する。

## 『完全版ピーナッツ全集〈1〉スヌーピー』 シュルツ, チャールズ・M. /著

半世紀にわたり連載された『ピーナッツ』全作品を網羅した初の全集、第1巻は1950～1952年発表作を収録。第1回より登場するチャーリー・ブラウン、シャーマー、パティ。続いてレギュラー入りのヴァイオレット。初めておもちゃのピアノを弾くシュローダー。まだ片言のレーシー。赤ん坊のライナス。そして普通の子犬として走りまわるとスヌーピー！…平日版705作、日曜版52作、全757作。巻末には貴重なロングインタビューと、シュルツの伝記作家デイヴィッド・マイケリスによる「チャールズ・M・シュルツの生と時代」を収録。



## 『税から読みとく歴史・社会と日本の将来』

栗原 克文／著

社会が税を求め、税が社会を変えた。洋の東西を問わず、歴史上の大きな出来事のきっかけが税であったり、逆に為政者が特定の政策目的をもって税制をかえることが珍しくない。経済のグローバル化、人口減少・高齢化、国家財政の悪化、格差の拡大が進むなか、税はどうあるべきか。敬遠してばかりいらなくなった税についてあれこれ考える力をつける、責任ある教養人のための一冊。

## 『ジェリーフィッシュは凍らない』

市川 憂人／著

特殊技術で開発され、航空機の歴史を変えた小型飛行船〈ジェリーフィッシュ〉。その発明者であるファイアー教授を中心とした技術開発メンバー6人は、新型ジェリーフィッシュの長距離航行性能の最終確認試験に臨んでいた。ところが航行試験中に、閉鎖状況の艇内でメンバーの一人が死体となって発見される。さらに、自動航行システムが暴走し、彼らは試験機ごと雪山に閉じ込められてしまう。脱出する術もない中、次々と犠牲者が。21世紀の『そして誰もいなくなった』登場！ 精緻に描かれた本格ミステリにして第26回鮎川哲也賞受賞作。



## 『戦わない知恵「戦国策」』

遠藤 嘉浩／著

今から2200～2500年前の中国。戦国時代に活躍した遊説の士たちの権謀術数を記した「戦国策」。司馬遷も「史記」執筆に多くこの書を参考している。秦・燕など戦国7雄は極力武力行使を回避した。それは武力行使が勝敗に拘わらず国力を削ぎ、他国にすきを見せることになるからである。実力主義の時代を生き抜いた、命をかけた説土の話術、先見、戦略